HUKUOKA CAN-DO GRADE (March 2012 Version)

参考資料2－（1）

HUKUOKA CAN-DO				GRADE 1	GRADE 2	GRADE 3	GRADE 4	GRADE 5	GRADE 6
CAN-DO	Reading	1	Speed/Rapid Reading（速読）	・パラグラフ毎に書かれている内容の概要や要点を概ね理解することができる。（目安：60WPM）	・パラグラフ毎に書かれている内容の概要や要点を短時間で理解することができる。（目安：75WPM）	・トピックセンテンスを探し出すなど、パラグラフ毎に書かれている内容の概要や要点を短時間で理解することができる。（目安：90WPM）	・パラグラフの概要を短時間で理解することができるとともに、パラグラフ相互の関係も理解することができる。（目安：110WPM）	・パラグラフの内容を限られた時間内で概要把握できる他、パラグラフ相互の関係もふまえた上で全体の流れをとらえることができる。（目安：120WPM）	・パラグラフの内容を限られた時間内で概要把握できる他、パラグラフ相互の関係もふまえた上で全体の流れを適切にとらえることができる。（目安：140WPM）
		2	Comprehension（理解）	・教科書の本文を、日本語に訳しながらであれば、内容を理解できる。(GTEC Gr. 2)	・教科書の本文を読んで、内容の大筋（出来事のつながり）を理解できる。 ・1文が短く、単純な構文で書かれた教科書の内容を、日本語に訳さなくても、内容を理解できる。(GTEC Gr. 3)	・教科書の本文の、1つの段落内の要点や内容のつながりを理解できる。(GTEC Gr. 4)	・教科書の本文について、複数の段落間のつながりや文章全体の構成を理解できる。(GTEC Gr. 5)	・教科書の本文の中の重要な点（とそうでない点）を区別し、書き手の意図などをほぼ正確に理解して、筆者の意見と自分の意見とを比較しながら読むことができる。	・教科書の本文の中の重要な点（とそうでない点）を区別し、書き手の意図などを正確に理解して、自分の意見と比較しながら文章を批判的に読むことができる。(GTEC Gr. 6)
		3	Reading Materials（英文の題材）	・簡単なポスターや招待状などの日常生活で使われる非常に短い簡単な文章を読み、理解することができる。(CEFR-J: A1．2) ・身近な人からの携帯メールなどによる、旅の思い出などが書かれた非常に短い簡単な近況報告を理解することができる。(CEFR-J: A1．2)	・簡単な語を用いて書かれた、スポーツ・音楽・旅行など個人的な興味のあるトピックに関する文章を、イラストや写真も参考にしながら理解することができる。(CEFR-J: A1．3)	・簡単な語を用いて学習目的に書かれた人物描写、場所の説明、日常生活や文化の紹介などの、説明文を理解することができる。(CEFR-J: A2．1)	・簡単な英語で表現されていれば、旅行ガイドブック、レシピなど実用的・具体的で内容が予想できるものから必要な情報を探すことができる。(CEFR-J: A2．2)	・語句に日本語の注釈がついた英語学習者向けの英字新聞（週刊STやAsahi Weeklyなど）で、興味のある記事は、辞書を使いながら読めば大体は理解できる。(GTEC Gr. 5)	・インターネットや参考図書などを調べて、文章の構成を意識しながら、学業や仕事に関係ある情報を手に入れることができる。必要であれば時に辞書を用いて、図表と関連づけながら理解することができる。(CEFR-J: B1．2)
		4		・個人的な短い手紙やEメールの英語のメッセージを、辞書を使いながら読めばなんとか理解できる。(GTEC Gr. 2)	・外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語の大まかな流れを理解できる。(GTEC Gr. 3)	・外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を、内容の重要な点を理解しながら、そのつながりを理解できる。(GTEC Gr. 4)	・生活、趣味、スポーツなど、日常的なトピックを扱った文章の要点を理解したり、必要な情報を取り出したりすることができる。(CEFR-J: A2．2)	・ゲームのやり方、申込書の記入のしかた、ものの組み立て方など、簡潔に書かれた手順を理解することができる。(CEFR-J: B1．1)	・語句に注釈などのない日本の英字新聞(Japan TimesやDaily Yomiuriなど)で、興味のある記事は、辞書を使いながら読めば大体理解できる。(GTEC Gr. 6)
		5	Story/Essay Reading（物語・エッセイの読解）	・物語やエッセイを読むとき、辞書を引きながら、注釈や説明に頼りつつ、なんとか読み通すことができる。	・物語やエッセイを読むとき、注釈や説明を参考にしながら、あらすじや要点をなんとか理解することができる。	・物語やエッセイを読むとき、辞書を引かなくても、ある程度推測しながら読み飛ばしてあらすじや要点を理解することができる。	・物語やエッセイを読む時は、辞書を引かなくても、ある程度推測しながら全体を読み通してストーリーの概要や要点を理解することができる。	・やや長めの物語やエッセイを辞書を頻繁に引かなくても、ある程度未知語を推測しながら全体を読み通し、あらすじや要点を理解することができる。	・長めの物語やエッセイを、辞書を引かなくてもある程度推測しながら全体を読み通し、あらすじや要点を理解することができる。
					・簡単な語を用いて書かれた、挿絵のある短い物語を理解することができる。(A1．3)	・簡単な語を用いて書かれた短い物語や伝記などを理解することができる。(CEFR-J: A2．1)			・平易な英語で書かれた長めの物語の筋を理解することができる。(CEFR-J: B1．2)
		6	Logical Reading（論理的な文章の読解）	・簡単な説明文を読み、筆者の意図を概ね読みとることができる。	・簡単な説明文を読み、筆者の意図を適切に読みとることができる。	・論理的な英文を読むとき、詳細にではないが論理の流れを意識して読むことができる。	・論理的な英文を読む時には、論理の流れを理解しながら、筆者の意図や主張を読み取ることができる。	・説明文や評論などの論理的な英文を、文章の構成や筆者の主張、図表との関連に注意しながら内容を適切に理解できる。	・評論などの論理的な英文を読む際には、筆者の考えや主張を理解するとともに、客観的にかつ批判的な読みができる。
		7	Oral Interpretation（解釈を伴う音声表現）	・英文の内容の理解は不十分ではあるが、内容がほぼ聞き手に伝わる音読ができる。	・英文の内容の理解に多少不十分な点はあるが、内容が聞き手に伝わる自然な区切りやスピードで音読ができる。	・英文の内容の理解がほぼ十分であり、内容が聞き手に伝わる自然な区切りやスピードで音読ができる。	・英文の内容の理解が十分であり、内容が聞き手に伝わる自然な区切りやスピードで音読ができる。	・英文の内容の理解が十分であり、理解した内容が聞き手に伝わるようにポーズやスピードに工夫を凝らした音読ができる。	・英文の内容の理解が十分であり、理解した内容が、聞き手に十分伝わるように、ポーズ・強弱・スピード等に効果的な工夫を凝らした音読ができる。
	Listening	1	W／M（聴解の速さ）	・1分間80～100語レベルの英文の概要を聴き取ることができる。 ・比較的ゆっくりと話された会話であれば、何とかトピックをつかむことができる。	・1分間80～100語レベルの英文の内容を正確に聞き取ることができる。 ・比較的ゆっくりと話された会話であれば、何回か聞けば大意をとらえることができる。	・1分間100～120語レベルの英文の概要を聞き取ることができる。 ・自然な速さで話された会話であれば、大意をとらえることができる。	・1分間100～120語レベルの英文の内容を正確に聞き取ることができる。 ・自然な速さで話された会話であれば、大意をとらえ必要な情報を正確に聞き取ることができる。	・1分間120～140語レベルの英文の内容を正確に聞き取ることができる。	・1分間140～160語レベルの英文の内容を正確に聞き取ることができる。
		2		・比較的ゆっくりと話される120～140語程度の身近な話題の英文の概要をほぼ理解することができる。	・比較的ゆっくりと話される120～140語程度の身近な話題の英文の概要を理解することができる。	・自然なスピードで話される120～140語程度の英文を、数回聞けば、その使用状況や概要をおおむね理解できる。	・状況のはっきりした場面で、自然なスピードで話される120～140語程度の英文を、数回聴けば概ね正確に理解できる。	・講義形式の自然なスピードで話された200語程度の英文を、数回聞けば概要をほぼ理解できる。	・講義形式の自然なスピードで話された200語程度の英文を、数回聞けばほぼ正確に理解できる。
		3	Classroom English（教室内英語の）聞き取り）	・教室で用いられる英語は、ゆっくりと繰り返し話された簡単なものであれば大体理解できる。	・教室で用いられる英語は、繰り返し話されれば、ほぼ理解できる。	・教室内で用いられる英語は、自然なスピードで話されてもほぼ理解できる。	・教室内で用いられる英語は、自然なスピードで話されてもほぼ理解でき、即座に行動に移すことができる。	・教室で用いられる英語は、自然なスピードで話されてもほぼ理解でき、多少内容が複雑なものであっても、即座に反応することができる。	・教室で用いられる英語は、自然なスピードで話されても十分に理解でき、内容が複雑なものであっても、即座に反応することができる。
		4	Comprehension（理解）	・英語で電話番号を聞いたり、お店で値段を聞いたり、ゆっくり簡単な英語で話してもらえば近くの場所までの道順を、ほぼ理解できる。(GTEC Gr. 2)	・英語のネイティブスピーカーがスピードやポーズなどにかなり配慮して話をすれば、おおよその内容を理解できる。(GTEC Gr. 3)	・英語のネイティブスピーカーがスピードやポーズなどに、ある程度配慮して話をすれば、おおよその内容を理解できる。(GTEC Gr. 4)	・英語のネイティブスピーカーがはっきりとした発音で話をすれば、おおよその内容を理解できる。(GTEC Gr. 5)	・日本で放送されているラジオやテレビの英語のニュース全般を聞いて、どのような内容か大筋を理解できる。(GTEC Gr. 6)	・海外で放送されているラジオやテレビの英語のニュース全般を聞いて、どのような内容か大筋を理解できる。(GTEC Gr. 7)
		5	Topic（英文の題材）	・趣味やスポーツ、部活動などの身近なトピックに関する短い話をゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。(CEFR-J: A1．2)	・ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や自分の家族・学校・地域などの身の回りの事柄に関連した句や表現を理解することができる。(CEFR-J: A1．3)	・ゆっくりはっきりと放送されれば、公共の乗り物や駅や空港の短い簡潔なアナウンスを理解することができる。(CEFR-J: A2．1)	・スポーツ・料理などの一連の行動を、ゆっくりはっきりと指示されれば、指示通りに行動することができる。(CEFR-J: A2．2)	・外国の行事や習慣などに関する説明の概要を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。(CEFR-J: B1．1)	・標準的な早さの録音や放送（天気予報や空港のアナウンスなど）を聞いて、自分に関心のある、具体的な情報の大部分を聞き取ることができる。(CEFR-J: B1．2)
		6		・日常生活の身近なトピックについての話を、ゆっくりはっきりと話されれば、場所や時間等の具体的な情報を聞きとることができる。(CEFR-J: A1．2)	・（買い物や外食などで）簡単な用をたすのに必要な指示や説明を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。(CEFR-J: A1．3)	・学校の宿題、旅行の日程などの明確で具体的な事実を、はっきりとなじみのある発音で指示されれば、要点を理解することができる。(CEFR-J: A2．1)	・視覚補助のある作業（料理・工作など）の指示を、ゆっくりはっきりと話されれば、聞いて理解することができる。(CEFR-J: A2．2)	・はっきりとなじみのある発音で話されれば、自分の周りで話されている長い議論の要点を理解することができる。(CEFR-J: B1．1)	・はっきりとなじみのある発音で話されれば、身近なトピックに関するラジオの短いニュースなどを聞いて、要点を理解することができる。(CEFR-J: B1．2)
		7	Format（英文の形態）	・教科書のリスニング活動で聞く英語を、1文ずつであれば内容を理解できる。(GTEC Gr. 3)	・教科書のリスニング活動に出てくる、5文程度の長さの英語の短い話や会話を聞いて、話し手の意図や内容の状況をほぼ理解できる。	・教科書のリスニング活動に出てくる、5文程度の長さの英語の短い話や会話を聞いて、話し手の意図や内容の状況を理解できる。(GTEC Gr. 4)	・教科書のリスニング活動に出てくる10文程度の長さのわかりやすい展開の話や会話を聞いて、大筋なら内容を理解できる。(GTEC Gr. 5)	・リスニング活動に出てくる、ある程度の長さで複数の話題が含まれた話や会話を聞いて、主題と詳細情報を区別しながらほぼ理解できる。	・リスニング活動に出てくる、ある程度の長さで複数の話題が含まれた話や会話を聞いて、主題と詳細情報を区別しながら理解できる。(GTEC Gr. 2)
							CEFR-J (March 10, 2012公開版) より	Benesse版　GTEC　CAN-DO GRADEより	岩手県版スタンダードCAN-DO LISTより

入学時	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	卒業時

	GRADE 1	GRADE 2	GRADE 3	GRADE 4	GRADE 5	
入学時						
1年後期						
2年前期						
2年後期						
3年前期						
卒業時						

感想・目標など

HUKUOKA CAN-DO GRADE (March 2012 Version)

参考資料2－(2)

HUKUOKA CAN-DO				GRADE 1	GRADE 2	GRADE 3	GRADE 4	GRADE 5	GRADE 6	入学時	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	卒業時
Speaking	1	発	Inpromptu Speech (即興スピーチ) Fluency(流ちょうさ)	・身近な話題や教科書で学習したことに関連した話題について、1分間に20ワード程度の英語を即興で話すことができる。	・身近な話題や教科書で学習したことに関連した話題について、1分間に35ワード程度の英語を即興で話すことができる。	・教科書で学習したことに関連したことや与えられた話題について、1分間に45ワード程度の英語を即興で話すことができる。	・与えられた話題について、1分間に60ワード程度の英語を即興で話すことができる。	・与えられた話題について、1分間に70ワード程度の英語を即興で話すことができる。	・与えられた話題について、1分間に80ワード以上の英語を即興で話すことができる。						
				・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、自分の言葉で発表することができる。(目安:60秒スピーチ)	聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことについて、情報や考えをまとめ、自分の言葉で発表することができる。(目安:60秒スピーチ)	・自分が興味を持ったニュースや話題について、相手に伝わるように簡潔に話すことができる。 (目安:90秒スピーチ)	・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表するとともに、発表されたものを聞いて、即興で質問したり意見を述べたりすることができる。 (目安90秒スピーチ)	・与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理してわかりやすく話すことができる。 (目安:120秒スピーチ)	・与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話すことができる。 (目安:120秒スピーチ)						
	2	発	Prepared Speech (スピーチ)	・前もって発話することを用意した上で、限られた身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、簡単な意見を言うことができる。(CEFR-J: A1. 2)	・前もって発話することを用意した上で、限られた身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、複数の文で意見を言うことができる。(CEFR-J: A1. 3)	・前もって発話することを用意した上で、興味あるトピックについて、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、複数の文で意見を言うことができる。	・一連の簡単な語句や文を使って、意見や行動計画を、理由を挙げて短く述べることができる。(CEFR-J: A2. 2)	・使える語句や表現を繋いで、自分の経験や夢、希望を順序だて、話しを広げながら、ある程度詳しく語ることができる。(CEFR-J: B1. 1)	・自分の関心事であれば、社会の状況(ただし自分の関心事)について、自分の意見を加えてある程度すらすらと発表し、聴衆から質問がでれば相手に理解できるように答えることができる。(CEFR-J: B1. 2)						
				・前もって発話することを用意した上で、日常生活の物事を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、簡単に描写することができる。(CEFR-J: A1. 2)	・前もって発話することを用意した上で、日常生活に関する簡単な事実を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、複数の文で、描写できる。(CEFR-J: A1. 3)	・前もって発話することを用意した上で、興味あるトピックについて、簡単な事実を、簡単な語や基礎的な句を限られた構文を用い、複数の文で、描写できる。	・自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、聞き手を混乱させないように、馴染みのあるトピックや自分に関心のある事柄について語ることができる。(CEFR-J: CEFR-J: B1. 1)	・自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、聞き手を混乱させないように、馴染みのあるトピックや自分に関心のある事柄について語ることができる。(CEFR-J: CEFR-J: B1. 1)	・ある程度なじみのあるトピックならば、新聞・インターネットで読んだり、テレビで見たニュースの要点について、語ることができる。						
	3	発	Presentation (プレゼンテーション)	・絵や写真などの資料を使いながら、よく知っている話題に関して、メモや原稿を見ながらであれば、何とか説明することができる。	・絵や写真などの資料を使いながら、よく知っている話題に関して、メモを見ながらであれば、聞き手にわかりやすく説明できる。	・写真や絵、地図などの視覚的補助を利用しながら、一連の簡単な句や文を使って、身近なトピック(学校や地域など)について短い話をすることができる。(CEFR-J: A2. 1)	・写真や絵、地図などの視覚的補助を利用しながら、一連の簡単な語句や文を使って、自分の毎日の生活に直接関連のあるトピック(自分のこと、学校のこと、地域のことなど)について、短いスピーチをすることができる。(CEFR-J: A2. 2)	・ある視点に賛成または反対の理由や代替案などをあげて、事前に用意されたプレゼンテーションを聴衆の前で行うことができ、一連の質問にも対応ができる。	・ある視点に賛成または反対の理由や代替案などをあげて、事前に用意されたプレゼンテーションを聴衆の前で流暢に行うことができ、一連の質問にもある程度流暢に対応ができる。(CEFR-J: B2. 1)						
	4	発	Story Retelling (ストーリーリテリング)	・教科書の内容に沿った英文原稿をもとに、内容に関連した英文を言うことができる。	・教科書の内容について、キーワードを使って口頭で英文を作ることができる。ペアもしくはグループでリレーリテリングができる。	・教科書の内容について、本文をぬきだしてそのまま使うことが多いが、コンセプトマップやフローチャートを見ながら、まとまった英文を話すことができる。	・教科書の内容について、本文をぬきだしてそのまま使うことが多いが、接続語句をうまく使って話の展開をわかりやすく言い換えることができる。	・教科書の内容について、自分独自の言葉遣いや順序で、わかりやすく言い換えることができる。同じ英文の内容を、別な角度や立場から説明することができる。	・教科書の内容について、自分独自の言葉遣いや順序で、わかりやすく言い換えることができる。同じ英文の内容を、別な角度や立場から説明し、自分の意見や創作を加えることができる。						
	5	発	Oral Summary (口頭での要約)	・教科書の内容について、穴埋めの原稿に適切なキーワードを入れながら、サマリー発表ができる。	・授業で学んだ内容について、その概要や要点を相手に簡潔に説明できる。	・教科書の内容について、本文をぬきだしてそのまま使うことが多いが、キーワードを元に作成したコンセプトマップを見ながら比較的短いサマリー発表をすることができる。さらに、簡単なコメントを付け加えることができる。	・教科書の内容について、本文をぬきだしてそのまま使うことが多いが、主題文や指示文をつないでサマリーを発表することができる。さらに、簡単なコメントを付け加えることができる。	・教科書の内容について、本文を抜き出して使う部分が少なくなり、さらに簡単なコメントを付け加えたサマリー発表をすることができる。	・短い読み物か短い新聞記事であれば、ある程度の流暢さをもって、自分の感想や考えを加えながら、あらすじや要点を順序だてて伝えることができる。(CEFR-J: B1. 2)						
					・教科書の内容について、キーワードを使って口頭で英文を発表することができる。				・教科書の内容について、自分の表現を多く使いながらサマリーを作り、さらにその内容に関し、コメントを付け加えて、自分の意見を述べることができる。						
	6	発・や	Skit/Role Play (スキット/ロールプレイ)	・授業で練習した表現を使って、ペアでの会話(ロールプレイ)を、台本を読んでしまいがちで、つっかえながらではあるが、なんとかできる。	・授業で練習した表現を使って、ペアでの会話(ロールプレイ)を、台本を見ながらであれば、なんとか相手の顔を見てつっかえずにできる。	・授業で練習した表現を使って、ペアでの会話(ロールプレイ)を、台本に頼らずに自然にできる。練習したスキットであれば、原稿を見ないで自然な会話ができる。	・授業で練習した表現を使って、ペアである程度の長さの会話(ロールプレイ)を、それまで学習してきた表現を交えて、台本に頼らずに自然にできる。学習した表現を応用して、ストーリー性のあるスキットプレゼンテーションを行うことができる。	・授業で練習した表現を使って、ペアである程度の長さの会話(ロールプレイ)を、それまで学習してきた表現を交えながらほぼ即興でできる。	・授業で練習した表現を使って、ペアである程度の長さの会話(ロールプレイ)を、それまで学習してきた表現を交えながら即興でできる。						
	7	や	Discussion (ディスカッション)	・授業内でワークシートを使って準備をすれば、なんとか話し合いに参加することができる。	・授業内でワークシートを使って準備をすれば、話題に沿った発言をすることができる。	・授業内でワークシートを使って準備をすれば、話し合いに参加でき、なんとか意見のやり取りをすることができる。	・多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するための意見を述べることができる。	・ディベートなどで、そのトピックが関心のある分野のものであれば、論拠を並べ自分の主張を明確に述べることができる。(CEFR-J: B2. 1)	・ある程度なじみのあるトピックならば、新聞・インターネットで読んだり、テレビで見たニュースの要点について議論することができる。(CEFR-J: B2. 1)						
	8	発・や	Topic/Function (会話の題材・目的)	・スポーツ、食べ物などの好き嫌いなどの、 とてもなじみのあるトピックに関して、はっきり話されれば、限られたレパートリーを使って、簡単な意見交換をすることができる。(CEFR-J: A1. 2)	・趣味・部活動などのなじみのあるトピックに関して、はっきりと話されれば、簡単な質疑応答をすることができる。(CEFR-J: A1. 3)	・一連の簡単な語句や文を使って、自分の趣味や特技に触れながら自己紹介をすることができる。(CEFR-J: A2. 1)	・簡単な英語で、意見や気持ちをやりとりしたり、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、ものや人を較べたりすることができる。(CEFR-J: A2. 2)	・身近なトピック(学校・趣味・将来の希望)について、簡単な英語を幅広く使って意見を表明し、情報を交換することができる。(CEFR-J: B1. 1)	・病院や市役所といった場所において、詳細にまた自信を持って、問題を説明することができる。関連する詳細な情報を提供して、その結果として正しい処置を受けることができる。(CEFR-J: B1. 2)						
				・自分の気持ちを表現することができる。(うれしい、悲しい、さびしいなど) ・自分の予定を簡単に言うことができる。 ・物事の「好き」「嫌い」とその理由を簡単に述べることができる。(動物、食べ物、スポーツなど)	・日常生活の身近な状況を説明することができる。(遅刻や欠席の理由など) ・自分の将来の夢や希望について、話すことができる。(訪れたい国、やりたい仕事など)	・印象に残った出来事について、そのあらましを簡単に話すことができる。(旅行、イベントなど) ・自分の学校について、簡単な紹介をすることができる。(場所、人数、特徴など)	・印象に残った出来事について、具体的な描写を加えながら話すことができる。(旅行、イベントなど)	・時事的な話題に関して、準備した上で賛成・反対の意見を述べることができる。	・自分の専門分野に関する講義や発表などを聞いて、それについて質問したり自分の考えを述べたりすることができる。						
				・自分の大切にしているものなどについて、英語で短い簡単な説明をすることができる。	・学校や身の回りの話題に関する自分の考えを英語でいうことができる。	・高校生がアルバイトをすることに対して賛成か反対かを述べるなど、身近な社会的な話題に関するスピーチを英語で行い、質問にも英語で答えることができる。	・国際政治や社会問題など、世界のニュースで取り上げられるような話題に関するスピーチを英語ですることができる。 ・日本の国内ニュースで取り上げられる社会問題などに関するスピーチを英語ですることができる。	・日本の国内ニュースで取り上げられる社会問題などに関するスピーチを英語で行い、質問にも英語で答えることができる。	・国際政治や社会問題など、世界のニュースで取り上げられるような話題に関するスピーチを英語で行い、質問にも英語で答えることができる。						
	9	や	やりとり (Interaction)	・基本的な語や言い回しを使って日常のやりとり(何ができるかできないかや色についてのやりとりなど)において単純に応答することができる。(A1. 2)	・基本的な語や言い回しを使って、人を誘ったり、誘いを受けたり、断ったりすることができる。(CEFR-J: A1. 3)	・補助となる絵やものなどを用いて、基本的な情報を伝え、また、簡単な意見交換をすることができる。(CEFR-J: A2. 1)	・予測できる日常的な状況(郵便局・駅・店など)ならば、さまざまな語や表現を用いてやり取りができる。(CEFR-J: A2. 2)	・個人的に関心のある具体的なトピックについて、簡単な英語を多様に用いて、社交的な会話を続けることができる。(CEFR-J: B1. 1)	・駅や店などの一般的な場所で、間違った切符の購入などといったサービスに関する誤りなどの問題を、自信を持って詳しく説明することができる。相手が協力的であれば、丁寧に依頼したり、お礼を言って、正しいものやサービスを受けることができる。(CEFR-J: B1. 2)						
				・級友に対して、決まった表現で謝意や同意を言い表すことができる。 ・会話中、相手に繰り返しを求めることができる。	・相手の考えや表現の良いところを、口頭でほめることができる。 ・自分と相手の意見の共通点・相違点を、順序立てて、述べることができる。	・授業中に理解できないことが生じたときに、丁寧に質問することができる。 ・ペア・ワークやクラス全体への発表などで、場面に応じた適切な声の大きさで発話できる。	・意見が異なる相手に対して、同意できない旨を丁寧に伝えることができる。 ・多少時間がかかっても、やりとりを終えるまで、相づちを打ちながら、相手の言うことを聞くことができる。	・相手が理解しやすいように、口頭でわかりやすく丁寧に指示を与えることができる。また、誤解が生じた時に、訂正することができる。	・相手の話す内容を簡単な言葉で言い換えて、相手に確認することができる。 ・文字や音声で与えられた内容について、自分の理解度を、丁寧に相手に確認することができる。						
	10		発音	・たびたび母語の影響を受けた発音になるが、個々の単語ははっきりと発音することができる。	・母語の影響を受けた発音が見られるが、個々の単語をはっきりと発音することができる。	・イントネーション、リズムに単調さや不自然さがたびたび見られるが、概ね明確な発音で話すことができる。	・イントネーション、リズムに単調さや不自然さがやや見られるが、明確な発音で話すことができる。	・発話の流れの中でイントネーション、リズムを適切に使い分けることができる。全体的に安定した英語らしい音調で話すことができる。	・全体的にほぼ英語らしい音調で話すことができる。						
							CEFR-J (March 10, 2012公開版) より	Benesse版 GTEC CAN-DO GRADEより	岩手県版スタンダードCAN-DO LISTより						

HUKUOKA CAN-DO		GRADE 1	GRADE 2	GRADE 3	GRADE 4	GRADE 5	GRADE 6	感想・目標など
年度ごとの達成度	入学時							
	1年後期							
	2年前期							
	2年後期							
	3年前期							
	卒業時							

HUKUOKA CAN-DO GRADE (March 2012 Version)

参考資料2－(3)

HUKUOKA CAN-DO				GRADE 1	GRADE 2	GRADE 3	GRADE 4	GRADE 5	GRADE 6
Writing	1	Speed （書く速さ）		・与えられたトピックについて、20分間に20～50ワードのまとまりのある英文を書くことができる。	・与えられたトピックについて、20分間に50～100ワードのまとまりのある英文を書くことができる。	・与えられたトピックについて、20分間に100～120ワードのまとまりのある英文を書くことができる。	・与えられたトピックについて、20分間に120～150ワードのまとまりのある英文を書くことができる。	・与えられたトピックについて、20分間に150ワード以上のまとまりのある英文を書くことができる。	・与えられたトピックについて、20分間に200ワード以上のまとまりのある英文を書くことができる。
	2	Format （英文の形態）		・3文以上からなるパラグラフを書くことができる。	・接続詞を使用しながら、1段落構成の英文を書くことができる。	・main ideaと supporting ideaからなるパラグラフを構成することができる。理由や具体例をあげながら、一貫した文章を書くことができる。	・接続語句をうまく使って適切に理由や具体例をあげながら、論理の展開がはっきりしとした200ワード程度のフォーマルスピーチ・エッセイを書くことができる。	・接続語句をうまく使って適切に理由や具体例をあげながら、論理の展開がはっきりしとした序論・本論・結論からなる200～400ワード程度のフォーマルスピーチ・エッセイを書くことができる。	・接続語句をうまく使って適切に理由や具体例をあげながら、論理の展開がはっきりしとした序論・本論・結論からなる400ワード以上のフォーマルスピーチ・エッセイを書くことができる。
	3			・自分の意見や感想を2～3文の英語で書くことができる。	・自分の意見や感想、または出来事の描写を5～6文程度の英語で書くことができる。	・自分の意見や感想を整理し、文章構成を意識して書くことができる。	・自分の意見や感想を論理的に整理し、段落構成を意識して書くことができる。	・効果的な事例を取り入れながら、自分の意見や感想を論理的に整理し、複数の段落で書くことができる。	・意見の分かれる話題について、複数の事実関係や意見の共通点、相違点を整理し、論理的に自分の考えを書くことができる。
	4	Summary Writing （要約文作成）		・教科書の内容について、穴埋めの原稿に適切なキーワードを入れながら、サマリー発表ができる。	・教科書の内容について、キーワードを使って英文を発表することができる。（主題文や結論文などの主要なメッセージ部分が不明瞭なことがある。）	・教科書の内容について、本文をぬきだしてそのまま使うことが多いが、キーワードを元に作成したコンセプトマップを見ながら比較的短いサマリーを書くことができる。さらに、簡単なコメントを付け加えることができる。	・教科書の内容について、本文をぬきだしてそのまま使うことが多いが、主題文や指示文をつないでサマリーを書くことができる。さらに、簡単なコメントを付け加えることができる。	・教科書の内容について、本文を抜き出して使う部分が少なくなり、さらに簡単なコメントを付け加えたサマリーを書くことができる。	・教科書の内容について、自分の表現を多く使いながらサマリーを作り、さらにその内容に関し、コメントを付け加えて、自分の意見を述べることができる。
	5	Topic （英文の題材）		・自分に関することや日常的な出来事であれば、なんとか英文を書くことができる。（目安30語程度）	・自分に関することや日常的に経験している内容であれば、まとまりのある文章で簡潔に書くことができる。（目安：50語程度）	・身近なことや興味・関心があることについてまとまりのある文章を書くことができる。（目安：60語程度）	・9～10行程度の長さの手紙、お知らせ、電子メール等について、制限時間内にまとまりのある文章を書くことができる。（目安：80語程度）	・社会性のある話題に関して、論理的な文章構成を用いてまとまりのある文章を書くことができる。（目安：100語程度）	・社会性のある話題に関して、論理的な文章構成を用いてまとまりのある文章を書くことができる。（目安：120語程度）
	6			・簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好き嫌い、家族、学校生活など）について短い文章を書くことができる。（CEFR-J: A1．2）	・自分の経験について、辞書を用いて、短い文章を書くことができる。（CEFR-J:A1．3）	・文と文を and, but, because などの簡単な接続詞でつなげるような書き方であれば、基礎的・具体的な語彙、簡単な句や文を使った簡単な英語で、日記や写真、事物の説明文などのまとまりのある文章を書くことができる。（CEFR-J: A2．1）	・身の回りの出来事や趣味、場所、仕事などについて、個人的経験や自分に直接必要のある領域での事柄であれば、簡単な描写ができる。（CEFR-J: A2．2）	・自分に直接関わりのある環境（学校、職場、地域など）での出来事を、身近な状況で使われる語彙・文法を用いて、ある程度まとまりのあるかたちで、描写することができる。（CEFR-J: B1．1）	・興味・関心のある話題について、聞いたり読んだりした内容の要約を書くことができる。（講義の内容、雑誌や新聞の記事など） ・日常生活の身近な話題について、自分の考えや意見を書くことができる。（「食事と健康」など）
	7			・自分の興味・趣味について平易な表現で書くことができる。	・趣味や好き嫌いについて複数の文を用いて、簡単な語や基礎的な表現を使って書くことができる。（CEFR-J:A1．3）	・日本の文化について紹介する簡単な文章を書くことができる。（食べ物、祝日、お祭りなど）	・興味・関心のあることについて、説明する文章を書くことができる。（簡単なレシピ、器具の使い方など）	・自分がやりたいと思っていることの説明や理由を書くことができる。（留学や入学の志望動機など）	・新聞記事や映画などについて、専門的でない語彙や複雑でない文法構造を用いて、自分の意見を含めて、あらすじをまとめたり、基本的な内容を報告したりすることができる。（CEFR-J: B1．2）
	8			・物語や教科書の内容、絵の内容について、感想・意見を3文程度で書くことができる。	・物事の「好き」「嫌い」とその理由を書くことができる。（食べ物、スポーツ、音楽など）	・印象に残った出来事について、その内容を詳しく伝える文章を書くことができる。（学校行事、旅行など）	・自分が読んだ本や見た映画について、自分の感想を書くことができる。	・興味関心のあること、身近に起こった出来事について、記事・コラムを書くことができる。	・物事の順序に従って、旅行記や自分史、身近なエピソードなどの物語文を、いくつかのパラグラフで書くことができる。また、近況を詳しく伝える個人的な手紙を書くことができる。（CEFR-J: B1．2）
	9	Function （書くことの趣旨・目的）		・簡単な語や基礎的な表現を用いて、、メッセージカード（誕生日カードなど）や身近な事柄についての短いメモなどを書くことができる。（CEFR-J:A1．2）	・短い日記、簡単なお知らせ、電子メールを書くことができる。	・日常的・個人的な内容であれば、招待状、私的な手紙、メモ、メッセージなどを簡単な英語で書くことができる。（CEFR-J: A2．1）	・聞いたり読んだりした内容（生活や文化の紹介などの説明や物語）であれば、基礎的な日常生活語彙や表現を用いて、感想や意見などを短く書くことができる。（CEFR-J: A2．2）	・身近な状況で使われる語彙・文法を用いれば、筋道を立てて、作業の手順などを示す説明文を書くことができる。（CEFR-J: B1．1）	多様な考え方ができる課題について、立場を決めて意見をまとめ、読み手を説得するための文章を書くことができる。
	10			・2～3文程度の短い簡単な内容の英語の日記を書くことができる。	・英語の手紙や電子メールなどを、辞書を引きながらであれば、書くことができる。	・英語の手紙や電子メールなどで、ある程度まとまった内容を、それほど辞書を引かなくても書くことができる。	・自分の興味のある話題やものに対して、意見や感想を発信することができる。	・国際政治や社会問題など、世界のニュースで取り上げられるような話題について、読み手を意識して自分の考え、意見・提案などを書くことができる。	・国際政治や社会問題など、世界のニュースで取り上げられるような話題についての発表や討論を聞いて、その内容をまとめ、自分の意見を書くことができる。
	11	Interaction/ Monitoring （やりとり・推敲）		・自分が書いた英文を、指摘されたことや提示されたチェック項目を参考にしながら書き直すことができる。	・友人の書いた英文の中で、内容が面白い部分や気に入った表現などに下線を引きながら読み、内容について簡単なコメントを書くことができる。	・友人の書いた英文の中で、内容が面白い部分や気に入った表現などに下線を引きながら読み、内容についてまとまったコメントを書くことができる。	・自分や友人の書いた英文を、辞書を活用しながら推敲することができる。	・自分の書いた英文を、文法や語法の添削だけでなく、よりよい表現や書き方を検討しながら、書き直すことができる。	・自分や友人の書いた英文を推敲し、どのような語彙や表現が適切かについて意見を交換し、より質の高い英文を書くために議論することができる。
Basic Skills	1	Vocabulary		・1600語レベルの単語の意味や発音が概ねわかり、そのうちの50%程度は実際に使用することができる。	・1600語レベルの単語の意味や発音がわかり、そのうちの80%程度は自由に使いこなすことができる。	・2300語レベルの単語の意味や発音が概ねわかり、そのうちの60%程度は実際に使用することができる。	・2300語レベルの単語の意味や発音がわかり、そのうちの60%程度は自由に使用することができる。	・3000語レベルの単語の意味や発音がわかり、そのうちの50%程度は実際に使用することができる。	・3000語レベルの単語の意味や発音がわかり、そのうちの50%程度は自由に使いこなすことができる。
	2			・多くの発音記号の読み方がわかる。(Kagoshima Standard Step 5)	・辞書を活用し、発音記号を見てその単語の発音ができる。	・辞書の例文を読み、その単語の使い方をほぼ理解することができる。	・辞書の例文を読み、その単語の使い方を理解することができる。	・辞書の例文を参考にし、その単語を適切な文脈の中で使うことができる。	・辞書の例文を参考にし、その単語を適切な文脈の中で概ね正しく使うことができる。
	3	Grammar /Usage		・中学校既習事項を理解し、高校で学習する基本的な文構造を概ね理解することができる。	・中学校既習事項を理解し、高校で学習する基本的な文構造を理解することができる。	・既習の英文法の知識や、よく使われる表現を身につけ、それらを使用して自己表現できる。	・既習の英文法の知識や、よく使われる表現を身につけ、それらを適切に使用して自己表現できる。	・既習の英文法や表現を理解し、それらを適切に組み合わせた英語で自己表現することができる。	・既習の英文法や表現を理解し、それらを適切に組み合わせた英語で、より自由度の高い自己表現をすることができる。
							CEFR-J (March 10, 2012公開版) より	Benesse版 GTEC CAN-DO GRADEより	岩手県版スタンダードCAN-DO LISTより

入学時	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	卒業時

HUKUOKA CAN-DO		GRADE 1	GRADE 2	GRADE 3	GRADE 4	GRADE 5	GRADE 6	感想・目標など
年度ごとの達成度	入学時							
	1年後期							
	2年前期							
	2年後期							
	3年前期							
	卒業時							